

2022 年度 福岡市科学館サイエンスコミュニケーション講座

1 開催の趣旨

福岡市科学館は、サイエンス&クリエイティブをテーマにサイエンスコミュニケーションを促進することにより、社会全体のサイエンスリテラシーを高め、人々が科学技術をめぐる問題に主体的に関与していける社会の実現に貢献することを使命としております。そのために、全国各地でサイエンスコミュニケーションを担う方々の活動を奨励、支援し、促進することを目的に、このたび「サイエンスコミュニケーター養成講座」を実施します。

この講座では、2日間でサイエンスコミュニケーションの「基本的な考え方」「ライティング」や「外部資金活用」などの一般性のある知識と手法を学び、「科学的活動を企画し、発表する」ことを体験する「実践講座」を実施します。

2 主催者

主催:福岡市科学館

共催:日本サイエンスコミュニケーション協会(予定)

3 開催場所・日時

(1)開催日時:2022 年 12 月 17 日(土)から 2022 年 12 月 18 日(日)まで

(2)実施方法:福岡市科学館で対面で実施(Zoom によるオンライン研修も実施予定)

(3)定 員:対面参加 10 名(ライティングの添削指導あり)、Web 参加 30 名

(4)参 加 料(資料・事務処理費用):

対面参加

12 月 17 日(土)に参加の場合:3,000 円(ライティングの添削含む)

12 月 18 日(日)に参加の場合:2,000 円

※参加料は当日会場にて徴収します

オンライン参加

12 月 17 日(土)に参加の場合:1,000 円

12 月 18 日(日)に参加の場合:1,000 円

お支払い方法:一括口座振込をお願いします。

振込締切:2022 年 12 月 15 日(木)18:00

4 参加対象:

サイエンスコミュニケーターに関心のある学生・大学院生、科学技術の活用に関心のある市民、幼稚園・保育園・小中高等学校の教員等

※科学館職員、科学館運営サポーターも参加可能(チラシには掲載不要)

5 内容及び認定対象講座

本講座では、サイエンスコミュニケーションに関心のある学生・大学院生、市民を対象として、サイエンスコミュニケーターとしての領域別の専門知識の習得、及びサイエンスコミュニケーションの基本的知識・技術を学び、「サイエンス・コミュニケーション」の実践的事項を習得する。

そのため、本講座では大きく「科学コミュニケーションの全体像の理解」と「サイエンスコミュニケーションのマネジメント」及び「サイエンスカフェ等によるサイエンスコミュニケーション」の実務を体験します。サイエンスコミュニケーション・スキルの習得と社会的実装化を達成するためのデザイン思考に基づく手法について学び、参加者が「科学的活動」の「企画書」を作成し、発表します。

日程(案)

実施日	講義名	概要	講師	所属
12月17日 午前10:00 ～10:50	サイエンスコミュニケーションの理解と広がり	サイエンスコミュニケーションが生まれてきた背景や福岡市科学館の活動を事例としてサイエンスコミュニケーション活動とその展開方法を学ぶ。	矢原徹一	福岡市科学館 館長
12月17日 午前11:00 ～12:20	サイエンスコミュニケーション活動の実践	福岡市科学館で行っている講座(観察、実験、解析、考察等)を紹介し、科学的体験におけるサイエンスコミュニケーションを心理行動の側面から解析し、参加者が体験する。	錢 昆	九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 准教授
12月17日 午後13:40 ～16:00	サイエンスライティング	科学技術について非専門の方々と語り合うためのコミュニケーション能力のうち、「書く」ことに焦点を絞った内容を学ぶ。	渡辺 政隆	日本サイエンスコミュニケーション協会 会長
12月18日 午前10:00 ～10:50	サイエンスコミュニケーションのマネジメント	サイエンスコミュニケーション活動を実施するためには、運営に関する様々な知識や技術が必要となる。ここでは、特に対話のための学習理論について学ぶ。	高安 礼士	日本サイエンスコミュニケーション協会
12月18日 午前11:00 ～12:20	デザイン思考に基づくサイエンスコミュニケーション	講座受講者が交流的に対話型の科学的活動を実践して社会的実装化を達成するため、デザイン思考に基づく手法について学ぶ。	平井 康之	九州大学芸術工学研究院 教授
12月18日 午後13:30 ～16:00	科学的活動の実際	講座受講者が企画した科学的活動を発表し、各企画について評価、議論を行う。	平井 康之 高安 礼士	

